

シルバーとよなか

ふれあい

2006年1月

福
寿

社団法人 豊中市シルバー人材センター

No.41

新春を迎えて



(社)豊中市
シルバー人材センター
理事長

清水 和夫

新年あけましておめでとございます。
皆様におかれましては、健康で

希望に満ちた新春をお迎えになられたことを心からお慶び申し上げます。

昨年中は当センターの事業運営に変わらぬご理解・ご協力を賜



豊中市長
一色 貞輝

明けましておめでとございます。

皆様方には、お健やかに新春をお迎えのご慶び申し上げます。

平素は清水理事長さんをはじめ、会員の皆様方には、市政の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

わが国の景気は、ようやく長い

りお礼申し上げます。またとりわけ、市民の皆様をはじめ各種事業所、行政機関等の幅広いご支援をいただくことができ、景気は上向きつつあるもののまだまだ厳しい社会・経済情勢下ではありましたが、昨年を上回る実績を上げることができました。このことは、一昨年の法改正により、臨時的かつ短期的な一般労働者派遣事業が認められるなど、多くの高齢者の皆様が多種多様な労働形態に対応できるシルバー人材センター事業に賛同していただき、就業機会の提供に心え、就業された結果だと思えます。

これからも超高齢社会のなかで、会員の皆様が長年に亘って培われた経験・技能を生かし就業し

トンネルを抜け出したようでありますが、原油価格の動向が内外経済をはじめ、地域経済へ与える影響など、まだまだ予断を許さない状況にあります。一方、財政も国・地方を合わせると七百兆円を超える借金を抱え、その縮減と解消が急務となっております。

ていただくことにより、地域社会の活性化に貢献していただけるよう、尽力してまいります。

最後になりましたが、昨年は地球規模の気象異常で、とりわけ米国南部には巨大ハリケーンが連続して上陸し多大な被害を与えました。また日本におきましてはJR西日本の脱線転覆事故により多くの死傷者が出る大惨事となりました。さらにマンション・ホテルの建築構造計算書偽造事件で多くの方が不安な日々を過ごさなければなりません。一方で「愛・地球博」の大成功や岡田阪神のリーグ制覇・ガンバ大阪のJ1リーグ初制覇などの明るい話題もありました。新しい年が皆様にとりまして、よりよい年となりますようお祈り申し上げます。ご挨拶といたします。

推進するための「外国人市民会議」を設置するとともに、全小中学校に学校司書を配置、乳幼児医療費助成を五歳未満に拡大しました。更にはすでに全小学校で行っているガードマンによる有人警備に加えて、全中学校校門にオートロック装置を設置し、小中学校の安全対策にも努めました。

これら施策を着実に実施することができましたのも市民の皆様のご理解とご協力のお陰と心から感謝申し上げます。

本市の十六年度決算では土地売却など臨時的な財源により、七年ぶりに黒字となりましたが、依然として財政の赤字体質は改善されていません。そのため「豊中市行財政再建指針」に基づき、新たに「行財政再建計画(第二次)」を策定し、財政の健全化と自主的・自律的な行財政運営の基盤づくりを進めてまいります。

本年は、市制施行七十周年の記念すべき節目の年にあたります。今後とも、市民の皆さんと協働し、安全で安心して暮らせるようにふるさととしていつまでも住み続けたいまち「豊中」の実現に向けまして、全力で取り組んでまいります。本年も一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げますとともに、新しい年が社団法人豊中市シルバー人材センターの皆様方にとりまして、素晴らしい年となりますようお祈りいたします。



豊中市議会議長

前田 雄治

新年明けましておめでとうございます。皆様方には、輝かしい新年をお健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、市議会活動に対し、あたたかいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

あけまして
おめでとうございます

理事長 清水和夫	副理事長 高塚善博	常務理事 中川善博	理事 沖田邦宏	岡本宗五郎	小川健一	小城信男	武井秋雄	徳井利雄	平永美恵子	松田登美子	行田尊子	丸田春三	村上茂之	竹内訓夫	事嘉康	村田嘉美子	監 鵜飼美子
第一班 青木富雄	第二班 西田祐吉	第三班 牛田功男	第四班 永吉和郎	第五班 大森一男	第六班 中川満雄	第七班 草野勉	第八班 藤野勉	第九班 森藤勉	第十班 八幡明	第十一班 徳幡美恵子	第十二班 片山千代子	第十三班 田中保	第十四班 中野千代子	第十五班 平田彰	第十六班 小田美子	第十七班 奥野正司	第十八班 奥野正司
新名道雄	明晃雄	尾崎千秋	伴野照次	下窪登美子	吉村君	井上早雄	栗原善夫	小西伸旭	佐藤芳	山崎秋芳	高塚準一郎	大野明	藤原正	嶋中芳雄	田中芳雄	岡田正澄	岡田正澄
小川益弘	早川敏夫	増野穰	増田穰	本元清	本田信	高橋潤	保木多	古川弘	山本洋	岡本宗五郎	田村修三	清水英雄	伊藤忠男	宮浦利彦	小川政明	安川教子	安川教子
藤井英彦	千綿礼子	中川眞紀子	大橋眞紀子	河崎泰三	竹中由造	伊藤多仁子	藤村多仁子	堀田多	井上良	本多紀	武井利	小川健一	松永登美子	中村幸雄	中川善博	中川善博	中川善博
平田秋男	徳永美恵子	原善夫	栗原善夫	小野浩三	大野彰三	奥井弘道	早川敏夫	永吉三男	藤本哲雄	田尻正雄	岡本宗五郎	武井利雄	平田宗五郎	丸田春三	井上俊雄	小川彰夫	早川敏夫
高塚善博	小川健一	中川善博	小野秋男	大野正明	尾崎千明	草野弘	栗原敏夫	原善夫	栗原善夫	原善夫	松永登美子	行田尊子	徳永美恵子	井上俊雄	大野彰夫	富田道子	安威道子

地域班役員

昨年を振り返りますと、世界各地で紛争やテロ、大規模な自然災害が起こり、多くの尊い生命が奪われました。また、国内においては、マンションの耐震強度偽装問題、アスベスト問題等、私たちの生活を脅かす事件が多発した一年でもありました。

一方、わが国の経済状況を見ますと、企業収益の改善が見られ、国内民間需要に支えられた景気回復が続ぎ、デフレからの脱却に向けた着実な進展が見込まれております。しかしながら、わが国の労働市場は、団塊の世代のリタイアを間近に控え、加えて少子高齢化の急進展に伴い、労働力人口の減

少が危惧されております。

そうした中、シルバー人材センターにおかれましては、高齢者の就業支援、生きがいづくりや社会参画のためご尽力いただいておりますことは、誠に心強く、心から敬意を表し感謝を申し上げます。

本市においては、七年ぶりに一般会計が黒字となったものの、市税等の減収が続くなど、依然として厳しい財政状況にあり、財政の健全化を最優先課題として、さらなる行財政改革を推し進めてまいり所存であります。

市議会といたしましても、市理事者と連携を取りながら「明るく住みよいまちづくり」の実現に向

けて一層の努力を傾注してまいりますので、皆様方におかれましても、今後ともご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が皆様方にとりまして幸多き年でありますようお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

広報・会員増強部会

女性部会

人材派遣業務推進部会



広報・会員増強部会

広報・会員増強部会が昨年九月一日付で、事業運営委員会の中に設けられた。

当部会の役割は次の三つであるが、考えてみるとその職掌範囲は極めて大きい。

- (1) 機関誌の編集発行
- (2) 会員の増強に関すること
- (3) 会員の福利厚生に関すること

当面抱えている課題の一つは機関誌「ふれあい」の編集発行であり、初春と盛夏の年二回刊行している。

編集委員は現在会員五名で、誌面構成・レイアウト、文字校正にあたっていただいているが、その他協力委員として、活動されている。

る方々のお力添えがあつて初めて完成する。

広報部会が出来たことでもあり、これからは想いを新たに、内容の一層の充実を図り、超高齢化社会にあつて、シルバー人材センター事業の重要性を広く内外に伝えていきたいと考えています。又、費用負担の軽減の一助にもなればと思ひ企業広告などの掲載も考えています。それには、やはり、実質的に下支えをして下さる編集委員の増員を願っています。そのため、自薦他薦を問わず、私がと思われる方はぜひ、名乗り出て頂きたいと思ひます。

次に会員増強対策についてですが、会員数を増やすだけではなく、質の向上が求められているのです。ここで、分母ばかり増やして就業の機会が増えなければ就業率低下の問題が出てきます。需給のアンバランスとミスマッチをなくす努力が求められているのですが、入会員数をいかにして増やすかに注力し、前向きに取り組まなければならぬと考えています。

まず、市民の方々への「豊中市シルバー人材センター」の認知度が極めて低いことから、将来的には広報活動全般について見直し、より効果的なPRの方策を構築しなければならぬものと考えています。

現在、委託事業の発注先への販促グッズ・PR商品の選定が検討の対象となっています。

新たな販促品として、豊中市シルバー人材センターのカレンダーを印刷発行して発注先に配布してはどうかという案が出ていますが、種々検討課題が多く、時間をかけて検討することになっていきます。

このように、企業へのPRとともに市民へのPRにも配慮した企画が必要と考えています。

第三番目の課題は福利厚生に関することですが、これに関しては「女性部会」も発足したこともあり、これからの重要課題として女性会員の意見を取り入れていきたいと考えています。

いずれのテーマについても、会員のみなさんのアイデアを寄せて頂きたいと考えています。

人材派遣業務推進部会

新事業へのアプローチ

時代とともに変化しています。時代とともに、活躍の場は広がっています。

昭和56年6月、会員150名余りで設立された豊中市シルバー人材センターは、25年を経て、今大きな転換点にさしかかっています。シルバー世代の生きがいや、健康のためという集団から、頼られる労働力の組織として、見直されようとしています。

それは、世界の国々が経験したことのな

い超高齢社会に日本が先陣を切って突入していること。

少子化による労働力不足という現象を生み出していること。

さらに、日本経済発展の原動力であった「団塊の世代」の人々が来年(2007年)から、続々と企業定年を迎え、日本の労働力は一挙に低下の方向に進むからです。

これは大変なことです。大きな日本の労働人口の変化です。

厚生労働省は、労働力不足対策の一環として、外国人労働者の確保(これにはおのずと限界があります)。もう一つはシルバー世代の労働力の再活用を考えています。一昨年、高齢者雇用の法律の改正が行われました。その内容は、シルバー人材センターの高齢者退職者を対象として、一般労働者派遣事業を行うことが出来るようになったことです。

全国のシルバー人材センターは、こつこつした事業の展開に向けて、積極的に取り組む方向に動いています。もちろん、豊中市シルバー人材センターも、その流れに沿って新事業への検討、調査を行う為、人材派遣業務推進部会を立ち上げ取り組みを始めました。

課題はたくさんあります。

人材派遣業務体制(組織)の確立、就業先の開拓、雇用関係のあり方など……。いずれも、シルバー人材センター業務では、未知の分野です。

今年、この大きなテーマに向

かつて、部会の委員とともに一丸となつて検討を始めます。

会員の皆さんからの声

・就業の機会を多く提供して欲しい。

・就業開拓に全力で取り組んで欲しい。

このような会員の皆さん方の声を受け、背中を押して頂きながら、新事業へのアプローチに着手、挑戦します。

女性部会

この度九月一日付で女性部会を事業運営委員会の中で設立する事になりました。構成は、理事四名、会員五名、職員二名です。発足したばかりで現在二回の会議を行い、次の課題に向け一回頑張つていきたいと思つています。

一、会員の増強について

これからは団塊の世代の方々が高齢になり、社会の高齢化がますます進み、シルバー人材センターの存在をより多くの市民にPRする必要があります。

二、未就業会員の対応について

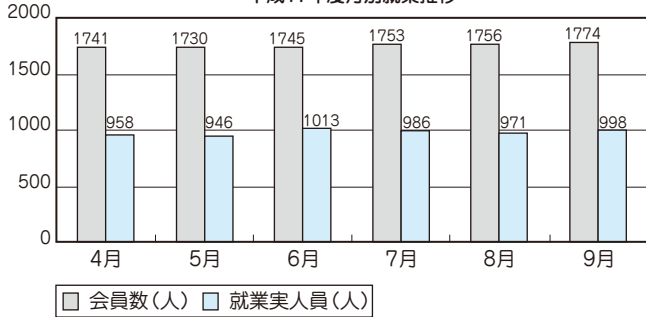
一人でも多くの会員の方々に、公平公正な就業機会の提供、開拓が必要で、営業・業務担当の方々に出席してもらい、色々と質問し、事務局の現状を聞きながら、今後の方針の参考とし、つないで行きたいと思つています。そのためにも、これからは会員の方々の忌憚のないご意見、ご提言をお待ち致して

おります。まだ始まったばかりですので、事務局関係者の方々のお力添えを頂き、少しずつ解決出来たらと思つています。
力強い女性部会として活躍したいと考えています。皆様よろしく
お願い致します。

就業実人員状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
会員数(人)	1741	1730	1745	1753	1756	1774
就業実人員(人)	958	946	1013	986	971	998

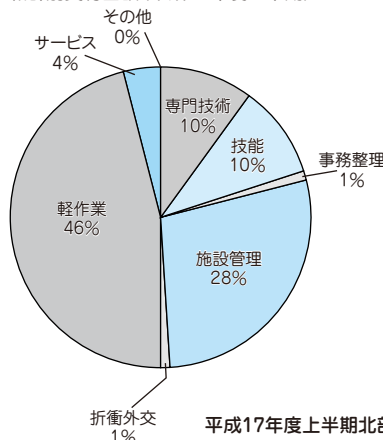
平成17年度月別就業推移



職群別契約金額状況(平成17年)

	契約金額(円)
専門技術	35,268,878
技能	36,185,874
事務処理	4,173,910
施設管理	95,549,380
折衝外交	4,680,801
軽作業	157,823,964
サービス	15,530,742
その他	544,259
合計	349,757,808

職群別契約金額(平成17年度上半期)



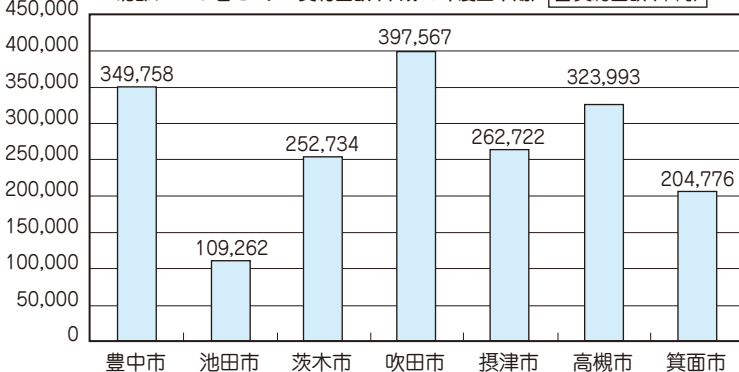
平成17年度上半期北部ブロック各センター実績比較

センター	契約金額(千円)
豊中市	349,758
池田市	109,262
茨木市	252,734
吹田市	397,567
摂津市	262,722
高槻市	323,993
箕面市	204,776

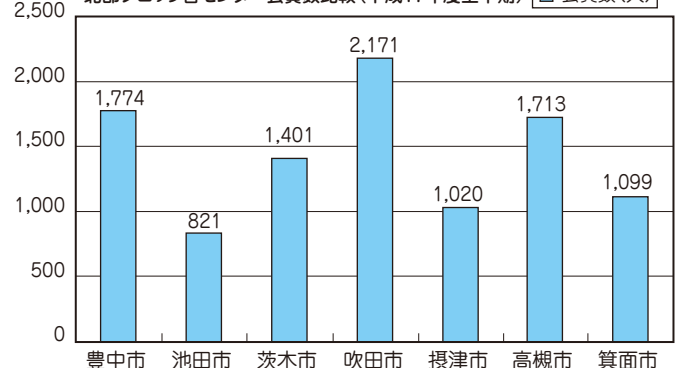
平成17年度上半期北部ブロック各センター会員比較数

センター	会員数(人)
豊中市	1,774
池田市	821
茨木市	1,401
吹田市	2,171
摂津市	1,020
高槻市	1,713
箕面市	1,099

北部ブロック各センター契約金額(平成17年度上半期)



北部ブロック各センター会員数比較(平成17年度上半期)



会員日帰りバスツアーを実施
 します。今回は滋賀県「長浜盆梅
 展」と「叶匠寿庵」日帰りの旅で
 す。長浜の風物詩として名高い慶
 雲館「長浜盆梅展」まち起こしの
 成功例の「長浜黒壁の街並み」散
 策と叶匠寿庵「寿長生の郷の庭園」
 散策のコースです。

盆梅展の梅を愛で、黒壁の街
 並みのガラス工房に寄り、叶匠
 寿庵の紅梅、白梅を楽しみたい
 と思います。ふるってご参加く
 ださい。

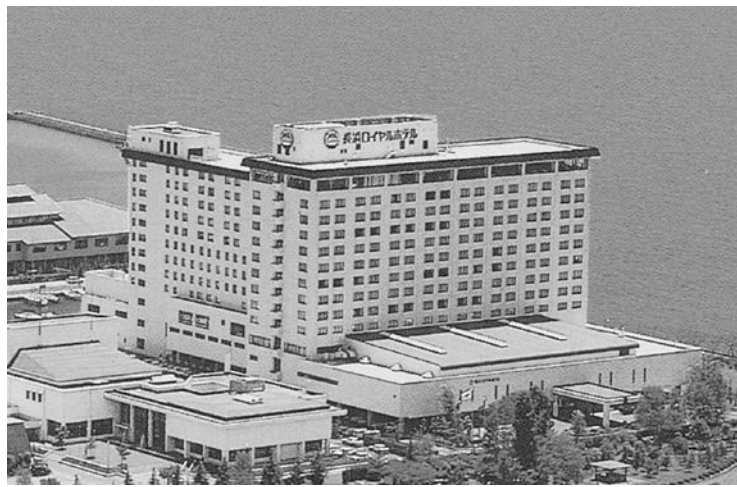
会員日帰りバスツアー

参加者募集



事務局だより

なが はま ほん ばい てん か の う し ょ う じ ゅ あ ん
「長浜盆梅展」と「叶匠寿庵」日帰りの旅
 す な い さ と
 ～長浜黒壁の町並み散策と寿長生の郷の庭園散策～



実施日：平成18年2月28日(火)
 参加費：4,000円/人

締 切：平成18年2月10日(金)
 募集人員：90名

*応募者がオーバーした場合、抽選とします。

豊中市役所前 → → → 中国豊中 I C → → → <名神・北陸道> → → → 長浜慶雲館「長浜盆梅展」見学 →

8:15頃出発

10:40~11:40

→ → 長浜ロイヤルホテル(昼食) → → → 長浜黒壁の町並み散策 → → → <北陸道・名神> → →

11:50~13:00

13:10~14:10

→ 叶匠寿庵「寿長生の郷」(庭園散策) → → → <名神> → → → 豊中市役所前

15:20~16:30

18:00頃到着

シルバー人材センター

フェスティバル開催

昨年、十月二十二日(日)千里セ
ルシー広場におきまして北摂七市
三町合同のシルバー人材センター
事業普及啓発事業が開催されまし
た。

当日、「シルバー人材センターフェ
スティバル」には、一千人以上の市
民の方々が参加され、華やかなイ
ベントとなりました。豊中市長一色
貞輝様をはじめ、大シ協会長足立
公夫様、大阪府知事太田房江様か
らもご祝辞をいただき、シルバー
人材センター事業が超高齢社会の
なかで、健康で働く意欲のある高
齢者の集まりで、「自主・自立・共働
・共助」の理念に基づき、働くこと
によって、それぞれの生きがいづく
りや地域の活性化に寄与している
重要な活動であり、団体であるこ
とを再認識いたしました。

参加された方々にシルバー人材



センター事業

をPRすると

ともに楽しん

でいただくた

め、舞台では

「豊中エイサー

(豊慶会)」や「SKY」、「たみあ

き」のライブがあり、また広場では、

当センターから絵画教室(独自事

業)や美術サークル(同好会)会

員の皆さんの協力で、「似顔絵コー

ナー」を開き参加された市民の方

の似顔絵を和やかな雰囲気で描い

ていただきました。また、協賛セ

ンターからの民芸品作成・工作教

室や手芸品販売コーナー等で活動

報告を兼ねてPRに努めていた

きました。

平成十八年度も北摂七市三町合

同でシルバー人材センターをより

知っていただくことにより、発注

を増やし、就業機会の拡大・拡充

につなげるため、普及啓発事業と

して、このイベントの開催を計画

しています。これからも会員のみな

さんは健康に留意して、経験・

技能を生かし、就業することによ

り、シルバー人

材センター事業

に参画し、生き

がいの一つにし

ていただきたい



賛助会コーナー

(株)イーバック(日岬町)

(有)イーバック物流

(日岬町)

(株)内田スプリング製作所

(千成町)

(株)大川歯車製作所

(庄内玉町)

大阪理研工業(株)(神洲町)

(株)オカキン(原田中)

国産部品工業(株)(新千里東町)

岸岡企業(株)(庄内西町)

三栄源エフ・エフ・アイ(株)

(三和町)

三和ビル(株)(庄内東町)

(株)シエティーピー新大阪駅内支店

(大阪府淀川区)

庄内神社(庄内幸町)

正光山浄行寺(走井)

白石薬品(株)(東大阪市横枕)

摂津水都信用金庫(茨木市西駅前町)

(株)太鼓亭(箕面市稲)

(社)福豊中市社会福祉協議会

(中桜塚)

仏光山如来寺(箕輪)

ホテルアイボリー(本町)

丸大食品(株)関西特販部

(大阪府西成区)

やまかつ(株)(大阪府北区)

(株)湯山製作所(名神口)

(株)渡辺製作所(名神口)

(五十音順)

編集のしおり

日本が国連の安保理の常任
理事国になるつかと脚光をあ
びています。今年、シルバー
人材センターを取り巻く安全
管理にも「層」の注意が求められ
る状況にあるように思われます。

日本列島の改革の進展が期
待される昨今、「ふれあい」の中
身について想を新たにしようと
考えていましたが、いかがでしょうか。
会員の皆様の「層」のご協力を頂
き、幅広く、記事を集めたいも
のです。

2006年の新年号に相応
しい表紙は藤田泰通氏にお願
いし、「福寿」の揮毫は書道同
好会の驚崎俊一郎氏のご協力を
得ました。また、似顔絵は美術
サークルの山階康雄氏にお願
いいたしました。この場を借り
て御礼申し上げます。

(編集委員一同)

岡本宗五男

小笹 彰二

武井 利雄

佐藤 アツ

会員の ひろば



元気で働ける幸せ



第7班
尾崎 千秋
「ふれあい」
に寄稿すること

となり少々昔に戻ってみたいと思えます。

私は豊中市の一番南にある千成町に住んで、もう五十年近くになります。当時は工場や田畑ばかりの混合地でした。まだ牛が草を食べたり、小川ではメダカ等が泳いでいて田舎と変わらぬ良い所でした。何年かして一変し、準工業地に指定され住工混合の街となり、工場や集合住宅等が次々と建ち並び、いつしか田畑が消え、蚊が多く悩まされたこともしばしばありました。又唇筒は断水したりして不便を感じながらも住めば都でした。

その間色々行政面でも動きがあり都市基盤が徐々に完備して来て現在に至っています。

私が事務局便りを配布するきっかけは、ふれあい四十号に書かれた五班の方と同様でした。まずは事務局から届いた会員名簿と地図を持ち、三十人余りの配布だから

と軽く考え出発しました。戸建て地区居住地はスムーズに出来たのですが、同じような集合住宅でも建て方が違い、何階建てでも階段が一つで、表札がない、応答もない等で大変でした。やっと探し当てた所で、会員と初顔合わせ、今後私が配布することなど説明させて頂き、時間の掛かることでした。初日は半分くらいしか出来ず夜になり帰宅。次の日は要領よく出来て小さな満足を感じた次第です。

地図はぼろぼろになりながらもその後は慣れて、時間の余裕も出てきました。隣の班に欠員が出来たことで、その地区も引き受けることになりました。半分は建て込んだ街で、自転車も通行出来ない程の迷路ばかりで、私も迷い込んだらどこにいるかわからず、毎月が悪戦苦闘でした。なんとかこの九月には、地図なしで配布出来るまでになりひと安心です。何分建物が急激に建て込んで来たため、慣れるまでに日数が掛かりましたが良い事も書ききれない程あります。その一つに先輩の家で夏は冷たいお茶など頂きながら世間話に花を咲かせ、色々とコミュニケーションがとれたことなど感謝しております。又、心に余裕も出来、このように元気で働ける幸せをかみしめている今日この頃です。

老後を健康に



第8班

山崎 秋芳
六十五歳で

建築関係の仕

事を退職し、平成十二年の初冬に吹田より豊中に引っ越して来ました。

このままで無駄に年月を過ごすのも空しい、何か生き甲斐を見つきたいと思い、引っ越しを契機に十三年五月、豊中市シルバー人材センターに入会しました。最初は個人の家の植木の水やり、大型ゴミの搬出、オープンハウスの案内など、単発的な短時間の作業でした。

そうこうしている内に、『ぼく』の配布の仕事をしたとき、一週間に一度センターに通う私に、その当時営業のお仕事をされていた方から再三お声をかけていただき、チラシ配布のグループの一員に加えてもらいました。仕事の量も会員さんも徐々に増えていきました。

世の中も色々、人さまも色々配布の作業をしていても、「苦勞さま」と声をかけて受け取って下さる方、又怒って突き返される方、この仕事をしてなかったら、味わえなかった喜びと苦勞も味わい、勉強になる事も沢山あります。

人生いくつになっても勉強と挑戦の日々でありたいと思っています。

私は肥える体質で閑な時は散歩の日々でしたが、仕事をさせてもらうようになって一挙両得、体重も安定してすこぶる快調です。身

体も軽くなりました。リーダーの細やかな心配により総勢二十一名の仲間にも恵まれ、和気あいあいと仕事をしております。

毎週月曜、木曜日には午後から皆さんチラシの引き取りに集い、世間話に花が咲き、憩いの場、親睦の場となっております。皆さん年を感じさせない若さです。ますます超高齢化に拍車がかかる現代社会において、こうして楽しく仕事ができ、元気で過ごせる事が最高の喜びです。

親切・丁寧・確実をモットーに発注者の信頼を裏切らないようお願いしていければ幸いです。

今年の春から地区委員として、毎月会員三十一名の方々に『事務局だより』を配布しています。手渡しではないのでお会いする機会もありありませんが、お会いした時は声を掛け合っています。いつまでもお元気でとの思いで配っております。少しでも地域のお役に立てたら幸いです。

希望に向かってまい進



第9班

田中 芳雄
あけまして

おめでとござ

います。二〇〇五年は新潟・九州方面で地震や水害が非常に多いようでした。また、パキスタン、タイ、インドネシアで災害が多く、今年には復興の年と、皆様の苦勞が

しのばれます。私達も地震災害に
もめげずに明日への希望に向かっ
てまい進したいものです。

私は新しい希望を持って箕面や
六甲山で初日の出を拝みます。世
の中も平和と私達の無事を祈りま
す。我が町の歴史と故郷を語り合
いましょう。裏山に遊びて仲間と
語り合い、世の中の胡散臭い話、
出来事、思い出語らい、田園の植
物、生物、神崎川、天竺川のほか
りて話し合い大きな水鳥、さぎ、
もずのなきごえ。空港に遊び、豊
中の環境は私達高齢者の努力で
整ったように思います。

今では周りは大きなビルが建
ち、自動車も増えた、たくさんの
物資、鉄道、各電車、町が発展し
ています。

私達もパソコンなど新しい仕事
を教わり、キーボードやマウスで
習い、ていねいに教えられ、技能
が進みました。町もにぎやかに人
通りが多く、懸命に働き出来た町
です。千里ニュータウンが完成し
て、大きさに目を見張ります。私
達の自慢の町です。古墳や養殖池
もあり、田んぼに市場が立ち、モ
ノレールが走るようになりまし
た。

私がシルバーセンターに入会し
て、三、四年お世話になっていま
す。最初は年輪的に戸惑うことも
ありました。公園を散歩している
時、年令の同じ人が公園の緑地で
清掃作業しており、作業状態を
聞くと、豊中市シルバー人材セン

ターであるとのこと。住所を尋ね
早速入会しました。

これからは高齢者も教育を受
けお互いに助け合い、パソコンの
キーボードやマウスの使い方を覚
え、健康的な体力を温存して、智
恵を絞り若い時代を思い出し、技
能過信せず新年に向かいたい。
夕暮れの岡を見上げるとビルが
建ち大きなマンションが建ち光輝
いています。またぐるりを見渡す
と赤いネオンが美しく輝きます。
皆さんの健康をお祈りします。

子や孫達へのメッセージ



第11班
増田 穰
私の親は
長寿である。

父は九十四歳で逝ったが、母は
九十六歳で健在である。母は銀行
員であった父の転勤で山陰地方を
転々としながら八人の子を育て、
戦中戦後を乗り切ってきた。その
苦労は限られた父の給料でいかに
食へ盛りの子供たちを育てていく
かの連続であったと思う。都会と
違って半農半漁の山陰だから食料
の調達は少しはまじだったかも知
れない。

両親は夕食の時間になると私た
ち子供全員を集めた。一人でも欠
けると帰って来るまで全員が食事
を待った。そして無言で合掌、「載
きます」。親は子に何を教えたかつ
たのか、私は六十六歳のこの年に

なって初めてわかった。貴重な食
糧は動物や植物から戴いた生命を、
私達は食事として戴き、私達の生
命を維持して、次世代につなぐ。

食事の前の「戴きます」は両親
への感謝と同時に他の動物や植物
から生命や肉体の一部を戴いて自
分が大きく育っていく食物連鎖で
ある事に感謝するのだと。

私も無言のうちに我が子に教え
て来た。今は結婚し、子の親となっ
ているが、食物をねだる時に私の
家内に「頂戴」と言っていた二人
の我が子は、それぞれの家庭内で
「頂戴」と言っているのだろうか。
孫達は「戴きます」と言っている
のだろうか。

「戴きます」「も」「頂きます」「も同
義語である。両方の漢字を合やす
と「頂戴」となり、頂きますや戴
きますの合成語となって丁寧な言
葉となる。「下さい」と同義語だが
感謝の心で「戴く」言葉ではない。

親から貰った身であると同時に、
他の生命体からこの身を受けつい
でいる。この感謝の心が「戴きま
す」であり「頂戴」であり「有難
う」である。幼い頃に両親から「もっ
たいない、全部食べろ」と言わ
れ続けたお陰で、食べ物に対して
好き嫌いなく今日まで生きて来た。

最近アフリカのワンガリ・マー
タイさん（ノーベル平和賞受賞者）
が日本に来て、地球環境問題の言
葉として「もったいない」を素晴
らしい言葉、たという事で国連で訴
えられて世界語となった。

「戴きます」「頂戴」「有難う」
「もったいない」など世界に通じ
る素晴らしい言葉が日本に沢山あ
る。親は子に、子は孫にと次々に
語り伝える事が大切ではなからう
か。私達はこの世に生きた証しを
次世代に伝えなければと思う。

核家族化が進んでお爺さんお婆
さんの存在が薄れゆく中で、私た
ちシルバー世代がなすべき事は、
私達の孫や他の子供達に正しい言
葉を伝え、読み聞かせる事である。
その手段として読書や童話とか、
昔話とか今は学校も教えていない
昔の童謡唱歌でも良い。又昔から
の言い伝え、民話、伝説、偉人の伝
記等これらの読み聞かせも良い。

子供の頃に見聞きし体験した事
は一生忘れないと言つ。「三つ子
の魂百までも」である。やがて子
や孫が百歳になっても「戴きます」
「頂戴」「有難う」「もったいない」
と言いつけるだろう。

大阪市内に住む一人の子や孫達に
平成十七年の大晦日もエールを送っ
て夫婦二人だけの正月を迎えた。



同好会だより

ハイキング同好会

第13班 羽生 恵光

六時に雨も上がり、天気回復のきざし。テレビの予報を信じて会員からの問い合わせもなく、通り雨用に折りたたみの傘持参で八時三十分阪急宝塚駅に十四名が集合。JR福知山線に乗り換えて約十三分で新三田駅に到着。

薄日さす空を見上げ、雲の流れに注意、全員了解、出発する。

国道一七六号線を渡り、なだらかな坂道をゆっくりと歩き、四方山話に花が咲き、三十分程で地層の広場に着き、崖の断面を見学。

やがてゆるやかな坂も終わり、70分の兵庫県立有馬富士公園に到着しました。

パークセンターで小休止。本日の予定コースは出合いの広場、花の道、鳥の道、鳥との出合い、水辺の生態園、菖蒲園、最後に有馬富士登山の予定です。

周遊も終わり有馬富士へ向かう途中、園内工事のところがあるので、工事の方より注意がありました。赤土の山道！すべる道！やっと八合目の休憩所に着きました。霧が流れているため頂上までは無理なので食事の時間に変更しました。雲が切れ、雨もやみ、足元に注意しつつ二十分で福島大池に全員到着。

振り返って山を見上げると、霧で頂上は見えなかった。

福島大池を左に見ながら、流紋岩の露頭の流水の風景や、遠くに有馬富士をバックに松風の休憩所、水辺の生態園など見る場所が多く、自然の美しさ、造形の美、有馬富士を美しく見せるロックガーデンを最後に公園と別れ、新三田駅に向かう。

午後はほとんど雨にも降られず自然を満喫した楽しい一日でした。

美術サークル同好会

第1班 山階 康雄

先日千里セルシー広場において「シルバー人材センターフェスティバル」が盛大に催され、私達の美術サークル会員が似顔絵コーナーに参加しました。私も永年絵を趣味として特に人物が得意で、今回も私にとっては楽しい一日でした。

各ブロックごとに机と椅子が設けられ緊張して来場者を待つ。横目で素通りする人もいたが、「似顔絵無料です」と言ったらとたんに子供や大人が一斉につめかけ、一瞬とまどつ。「一列に並んで下さい。お一人二十分掛かります」。各分拍作業する。一人ずつに整理券を渡そうとの案が出た。「その辺をぶらついて時間がきたらおいで下さい」。ひとまず落ち着きを取り戻す。

子供を抱いたご婦人が子供だ



け描いて下さいと言われたり、年輩の方々が多勢来られて盛況であった。品の良いご婦人が私の前に座る。「おたくが山階さんですか。いつもふれあいの似顔絵を見て、どなたかしらと思っていました。お会い出来てうれしいわ」と言われ恐縮する。このひとコマがいまだに忘れられない。

「ハイ、次の方お名前を記入して下さい」。急に自分が偉くなったような錯覚すらおぼえる。流れが順調になり、描く事に夢中になっていると時間がたつのが早い。

そろそろ予定の時間もせまり、片付けに入ると、子供だけでも是非描いて下さいと哀願するかの様な若い女性。つい熱意にほだされ、色紙を取り出し、鉛筆で描き淡く色付けする。

十五人は描いただろうか。色紙に描かれた自分の似顔絵を真剣に見つめ大切にバッグにしまいこみ、「良い記念になります。ありがとうございます」と言っ

囲碁同好会

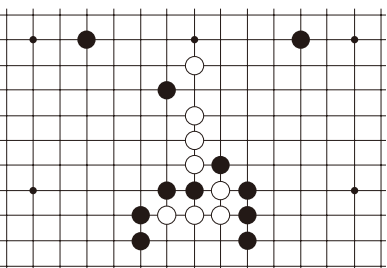
第3班 梶浦 武彦

本年夏期に予定していた同好会の囲碁大会は、会場の確保がむずかしく、日程を決めることができませんでしたが。その後も会場を探しており残念ながら適当な場所が見つかっておりません。見つかれば次第大会を開催したいと考えております。また毎週金曜日に行っております同好会の例会にご出席の人数も比較的少ない限られた人数に絞られるようです。

さて同好会の現況は以上のようなものです。

ここで一つ中国の有名な棋書に詰碁や手筋を紹介している玄玄棋経という本がありますが、その中に掲載されている興味深い詰碁を紹介してこの文の責任を果たしたいと思えます。同好の皆さまのつれづれにお考え下さい。(解答次号)

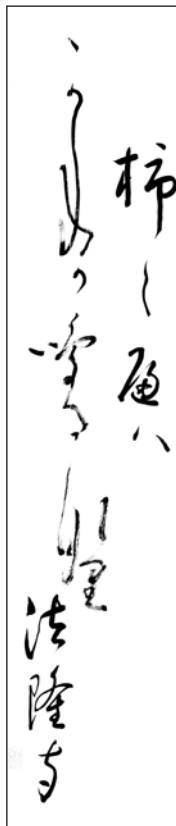
白先で下部の包囲されている白四子の活路はどうなるでしょうか？決着まで記入して下さい。



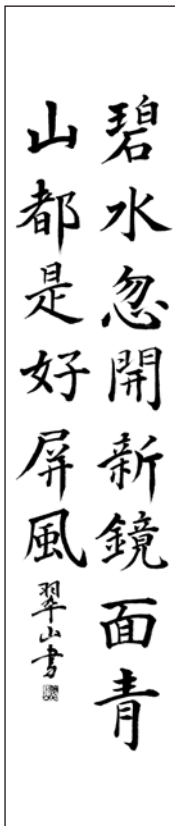
書道同好会

第14班 弘岡 陽子

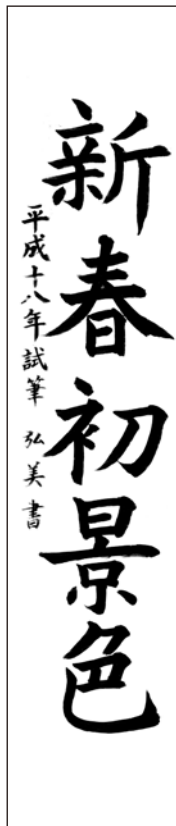
書道同好会に入会させていただきはや二年近くになります。同好会の皆さんがすごく熱心に取り組んでおられる姿にいつも刺激を受けます。思うように練習時間も取れませんが、継続は力、日々精進を忘れずマイペースで頑張りたいと思っています。技量の向上が目標ですが、月二回、皆さんと和気あいあいの雰囲気勉強するのが楽しみにしています。又、ご指導いただくボランティア精神旺盛な先生方には大変感謝しております。これからも会のみますの発展を皆さんと一緒に築いていきたいと思っています。



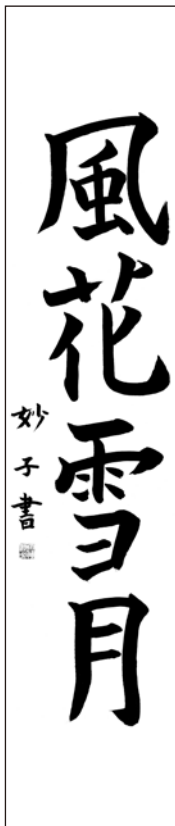
第2班 小安喜久子



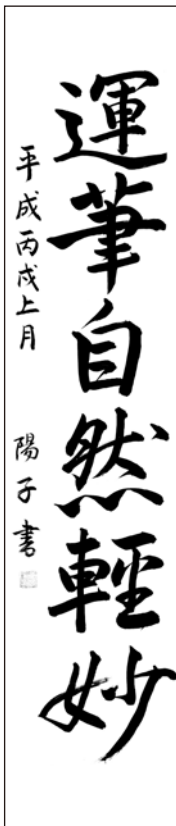
第3班 鷺崎俊一郎



第13班 鳥居 弘美



第14班 中神 好子



第14班 弘岡 陽子

写真同好会

第18班 西 宏樹

紅葉の常寂光寺 恒例の「秋の紅葉」撮影会は京都嵐山に出掛けた。大変大勢の人出にびっくり！渡月橋も落ちるのではないかと思う人々であった。目的の常寂光寺の紅葉は、それはそれは見事なものだった。黄・紅・赤・緑と色さまざま、どこを撮っても絵になるさまにあぜんとして迷うばかりだった。

撮影会から帰ると、デジカメの会員から早速メールで撮影写真が届いた。なかなか良いもので感心する。仕事の関係で出席できなかった会員から残念がるメールが一杯！ 十二月例会は、作品批評と食事でにぎやかになることだろう。平成十八年のバスツアー撮影会は、余部鉄橋の予定である。今からワクワクして心がおどる。



シルバー英会話同好会

シルバー英会話クラスでは、毎月第一、三火曜日の午後一時から90分間、とよなか国際交流センターの一室を借りて、英会話を愉しんでいます。ぜひ、参加してく

ださい。毎年、十二月には、クリスマスパーティーで盛り上がっています。



俳句

第2班 須藤 操

大玻璃戸埋つめ尽くして椋鳥わたる

恋の絵馬袂にこめて神発てり

かりそめに行き交ふ人と雁仰ぐ

緩やかに縛られる身や石路の花

杉の香の霧に鎖もる古道踏む

ハモニカで吹く

「故郷」の夜寒かな

砂文字を波が連れ行く小春風

ゴミの減量化をサポート リサイクルショップ

第8班 佐藤 アツ



私は“ふれあい”帽子

小春日和に恵まれた十一月二十六日(土)、原田神社境内で、おかまち・まちづくり協議会(坂本準之助会長)の主催による野外イベント「まちの文化祭」が開催され、当センターのリサイクルショップがフリーマーケットに参加、出展しました。今回は私も初



めて見るリサイクルショップの様子を紹介しましょう。

午前十一時過ぎ、神社東側正面の石鳥居をくぐるとかなり大勢の人のにぎわいぶり。本殿と対面する位置の十二番ブースに、お役立ちます地域で、企業で、ご家庭でと染め抜かれた豊中市シルバー人材センターのブルーののぼりが目立ちます。

リサイクルショップの岡本宗五男店長をはじめ、本日の店員さんは奥村博一さん、佐脇正昆さん、永吉功男さん、河野一雄さん、山本ます子さん、坂本篤子さん、岩崎信子さんに浮田子さんの八人。手作り小物からバッグ、陶器、お盆、なべ、スーツもあります。置き物は京人形、フランス人形、

韓国風人形、木彫りの仏像まで想像以上に多彩です。

大型の家具や家電製品は一点ごとに写真にして、ブースの前のスタンドにカタログ風にして置いてあり、立ったまま気軽に見られます。主に女性陣は現物販売、男性はカタログ販売の担当で、売れ行きは好調のようでした。

フリーターを兼ねる奥村さんはチラシ、写真作成はお手のもの、時に応じ搬入でも何でもやってくれるとは岡本店長の弁。佐脇さんは写真同好会でも活躍されている様子。販売で忙しい他の方々のお話をくわしく聞けなかったのが残念でした。

リサイクルショップは、当セ



ンターの独自事業の一つとして発足。小曾根三丁目の田辺電機商会の作業所と倉庫を借りられるようになって、今年度から本格的活動ができるようになりました。桜塚ショッピングセンター二階で既に七月と十月にショップを開きました。広報やインターネットを通じ、留学生から家具類の需要が多いとのこと。十二月二〜三日に豊中市民会館で開催された「豊中市民環境展2005」にも出展しました。

いわゆる3R(リユース・リデュース・リサイクル)をサポートするリサイクルショップにますます期待が高まります。私も改めて資源の有効利用とゴミの減量化に思いを致しました。